



▲未来へひっとべ!! (重富海水浴場海開き)

かごしま
あいら
市議会だより

No.20 6月定例会
平成27年7月31日発行

声	報告	特集	補正
傍聴席から	議会と語る会	女性座談会	子育て支援の拡充
20	18	6	2

子育て支援の拡充

施設整備 1億1835万円



子どもたちの笑顔あふれるまさに

6月定例会は、6月15日から7月6日までの22日間の会期で開かれました。

平成27年度一般会計補正予算・条例改正・市道認定・議会会議規則の一部改正・特別委員会設置・請願・陳情などを審査しました。

その結果、請願2件を採択し、陳情5件を不採択としました。また、残りの議案は全て可決しました。

一般会計補正予算

補正総額は、2億7627万円の追加で、補正後の予算総額は、285億8427万円です。

「次世代育成支援対策施設整備事業」は、待機児童の解消と児童福祉の向上を目的とした補助事業です。

本市では0歳～5歳児人口が次第に増えてきていることから、子育て支援策の拡充に心えるものです。

また、文化会館（加音ホール）やくすくす館に要望の多い駐車場整備事業が実施されます。

議会運営委員会議案提出

議会運営委員会は2件

の議案提出を行いました。最終本会議にて全会一致で可決しました。

会議規則改正

本議会では男女共同参画（関連記事6・7ページ）を考慮した議会活動を促進するために、始良市議会会議規則に、「出産」に関する項目を加えて、一部を改正しました。

特別委員会設置

魅力的で活力のある地方創生を目指し、そのあり方を審議するために、「まち・ひと・しごと創生総合戦略特別委員会」を設置しました。

委員長 森 弘道
副委員長 渡邊 理慧

補正

暮らしやすいまちづくり

日本一暮らしやすいまち「始良市」をめざして
身近な事業をピックアップしました。

次世代育成支援対策施設整備

1億1835万円

社会福祉法人「太陽の風」が運営する認可保育所の並木への移設工事費の一部助成です。
敷地面積は約3520㎡、建物は鉄骨造り2階建て880㎡で平成28年4月開所予定です。
定員は60名で放課後児童クラブも併設します。

質疑 今回の整備で待機児童の解消になるか。
答弁 今年1月の待機児童は29人だが今回施設整備31人の定員増になる。ただし、希望者は年々増えているので今後も定員増を図り、待機児童の解消に努める。

文化会館管理運営

6302万円

文化会館（加音ホール）

や加治木運動場での各種行事に対応するための駐車場用地整備で150台分を確保します。
質疑 この用地内で将来の東岩原交差点からの道路延伸も考慮しているか。
答弁 それも視野に入れた計画にしている。

活動火山周辺地域防災営農対策

5322万円

降灰から農作物を守る

ビニールハウスの新設とビニール更新の補助です。
質疑 更新対象となる規準は何か。
答弁 採択要件は新設と同じで3戸以上の生産組織で、総事業費50万円以上が対象である。



加治木運動場の東隣（写真右手）駐車場予定地



ビニールハウスのビニール更新箇所

蒲生郷町割り巡り観光駐車場整備

2540万円

質疑 隣接する南の交差点の歩道に余裕幅を確保し、観光客の安全通行を図れないか。
答弁 このカーブには花壇を計画しているが、実設計の中で充分検討する。

議場システム機器改修契約議案を承認可決

3024万円

平成7年に整備した議場の録音機器や画像の庁舎内配信システム等が老朽化したことと、情報公開の要請に応えるものです。

インターネットによる議会中継、録画配信、表決の電子集計等の議会情報をより多く、迅速・正確にお伝えできるようにします。

これはプロポージャー方式（企画提案競技）により機種選定するものです。



タッチパネルで簡単操作

請願 2件

採択



離合も出来ない狭い市道

請願の趣旨
宇都自治会周辺は、島津義弘公に関係する史跡が数多く散在し、研究者や見学者が来られても車の離合ができず、大変迷惑をかけている。また、あいらびゅー号の乗り入

れも困難である。当市道は、米山交差点の交通渋滞により、三拾町から加治木に抜ける近道のため交通量も多く、市立帖佐保育所の園児の送迎時は、大変混雑をして、危険を感じている。

宇都自治会内市道等の整備等を求める請願

採 択

提出者 児玉 俊昭
紹介議員 森 弘道



排水路と用水路を兼ねた側溝

また、自治会の若者を中心に同好会を結成して、耕作放棄地の水田を耕作し、用水路の廃土作業や鳥獣対策にも取り組んでいる。

このようなことから当自治会内の市道の整備と拡幅、側溝、用水路の整備を請願する。

賛成討論 吉村 賢一

現在、教員委員会で「花園寺跡の整備」が計画されている。建設部・農林水産部の両面の考えと、史跡保存と調整しながら整備を図るべきである。

採決結果

全会一致で採択しました。

少人数学級の推進等定数改善と義務教育費国庫負担2分の1復元を要望

採 択

提出者 生田 国一
紹介議員 本村 良治

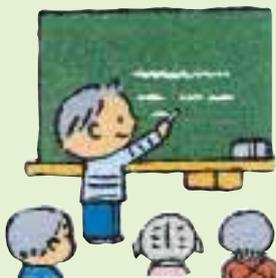
請願の趣旨

2016年度政府予算編成において、次の事項が実現されるように、意見書の提出を要請する。30人以下の少人数学級を推進すること。

義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

賛成討論 田口 幸一

教職員定数改善を推進する。義務教育費国庫負担を2分の1に復元する。学級編成基準を改め、複式学級の解消をはかる。次代を担う子供達の育成には、予算を削減するのではなく、教育には大きな投資をするべきである。



採決結果
賛成21反対1で採択しました。

賛成討論 堀 広子
日本はOECD諸国と比べて一学級あたりの児童生徒が多い。一人ひとりの子どもにゆき届いた教育を行うには、30人以下学級を実現すべきだ。教職員数も削減されている。国の施策として定数改善の財源を保障すべきである。

陳情 5件 不採択

川内原発1・2号機の再稼働に当たって、九州電力に住民説明会を求める陳情

不採択

提出者 野呂 正和

上記と同一趣旨・同一目的の陳情が2件ありました。いずれも「みなし不採択」

提出者 森崎 利佳子
提出者 山下 晶子

陳情の趣旨

始良市は、原発事故の際は立地自治体と同様な被害が想定される。始良市の生活圏が30キロ圏内外という至近距離にあることを考えれば、九州電力は事業者として、市民に対して公開の場で住民説明会を開催するのは、当然である。九州電力に再稼働に当たって住民説明会の開催を求める。

賛成討論 神村 次郎

原子力規制庁による説明会が5か所で行われた。この説明会は、市民の疑問や不安に答えるものではなかった。九州電力は、事業者責任として住民説明会を行うべき立場にある。

川内原発再稼働の前に鹿児島県と30キロ圏内の自治体共催による避難計画についての説明を求める陳情

不採択

提出者 松尾 晴代

反対討論

東馬場 弘
知事は、今年秋、鹿児島市で全県民を対象に説明会を開く方針。九州電力は昨年12回、今年4回地域で原子力説明会を実施している。九州電力が個々に住民説明を実施している努力は認めるべきである。

採決結果

賛成9 反対13 で不採択となりました。

陳情の趣旨

川内原発の過酷事故時は、原子力災害の特異性から周辺自治体との連携も必要である。鹿児島県・始良市・30キロ圏内自治体共催による避難計画についての説明会の実施を求める。

賛成討論 神村 次郎

全国で原子力発電所を全部止めて適合審査がされている。再稼働前には当然、避難計画は策定しておくべきである。市民の安全・安心に暮らす権利を政治家や事業者の都合で奪ってはならない。

賛成討論 渡邊 理慧

原発事故が起こった場合の被害は、風向きにより30キロ以上にも及ぶことが充分予想される。さらに避難者受け入れ先でもあることから、始良市全体への対応が必要。多くの市民が不安や心配を抱えている。説明会は早急にすべき。

反対討論 東馬場 弘

陳情書にある川内原発

再稼働前に、避難計画の説明会の実施を求めることと自体が、現実的に非常に難しく物理的にも無理。知事に意見書を提出することは意味をなさない。

採決結果
賛成11 反対11 可否同数
議長が不採択と裁決しました。*

賛成討論

川内原発再稼働前に
再稼働が確認でき訓練
実施が避難訓練
住民参加の避難訓練
実施を求める陳情

不採択

提出者 松尾 晴代

陳情の趣旨

本年5月に予定していた原子力防災訓練が再稼働後にずれ込む見通しとなった。原発事故はいつ起きるか予測不可能な上、被害の拡大範囲の予測もつかない。始良市を含む30キロ圏内自治体との連携した避難計画に基づく避難訓練を再稼働前に実施すべきである。

賛成討論 神村 次郎

県と関係9自治体で原子力防災訓練を再稼働前に実施することで進められていた。事業者への配慮がなされたのか実施されなかった。当然再稼働前に避難計画の説明をし、避難訓練を実施すべき。

反対討論 東馬場 弘

原子力防災訓練の実施は、九電が使用前検査で訓練への参加は困難。知事も再稼働前には行わない方針。始良市が大規模な防災訓練を計画している。これも十分な避難訓練の一部になると考えられます。

採決結果

賛成11 反対11 可否同数
議長が不採択と裁決しました。*

* 可否同数とは

通常、出席議員の過半数により決するが、賛成・反対同数の時は議長が決することができ。



元始女性は

太陽であった

あまりにも有名なこの平塚らいてうの言葉は、日本で最初の女性の手による文芸誌「青鞥(せいとう)」の創刊の辞です。

同時期に活躍した市川房江さんらを先駆けとする日本の婦人運動は脈々と受け継がれ、今、国は男女共同参画社会の実現に本腰を入れています。

そんな中、始良市でも執行部席によりやく紅一点女性が席を得ました。これはじめの一步は、これからの市政の大きな一歩となるでしょう。

これはじめの一步にあたり、市川さんらが提唱してきた「新しき政治と婦人の課題」を今に問うべく、議会で活躍する女性たちの座談会を開催しました。



みんなちがって
みんないい



福山恵子さん

保健福祉部
てんびん座 /
A型
小学校の先生

ワクワクドキドキ の第一歩

司会 今回の議会の感想を聞かせてください。

福山 開会前からドキドキでした。私よりも前に執行部席に座るべき先輩もおられたはずですが、タイミングもあり、私が最初になりました。先輩方の想いももっていかなくてはと思っています。

黒木 合併後、第1回目の議会で議場に入る機会があり、その時は怖いという印象がありました。今回は身も引き締まる思いでしたが、参画できるのをうれしく思いました。竹下 発言の機会はありませんでしたが、緊張で心臓がドキドキしました。

管轄の男女共同参画課はこのような状況を生み出すところでもあり、うれしかったですし、三人で参画できたことが本当にうれしかったです。

堀 誠実に分かりやすく答える姿は、頼もしく、そして明るい感じだととてもうれしく思いました。

河東 男女雇用均等法ができて、徐々に女性だからという風潮はなくなりました。今回みなさんが議場に入られたのはまさに先駆者であり、後に続く人にもいい手本を示されたと思います。

辞令交付、その時 やるしかない

司会 辞令をもらった時の印象は？

福山 ポストを提示されてできませんと断るのでなく、それに備えていくことも大事だと思います。私は狭い専門分野しかみていませんが、若い人は広い分野に関わり、課長補佐、課長、部長と責任ある立場に挑戦して欲しいと思います。

Going
My Way



黒木ひろ子さん

保健福祉部
おひつじ座 /
B型
看護師

黒木 急に課長職をなどと言われると、できるのかと不安になりました。しかし、いざやるとなるともうやるしかないという気持ちで切り替えていました。

竹下 男女共同参画は自分の所管でしたが、そこに生活安全係と市民相談係も入ってくると、その3つの係を自分でまとめられるのかと不安になりました。課長になり、男女共同参画をもっと広げていこうという思いがあり、職員への啓発を進め、そういう課があるからと意識されずにすむようにしていきたいと思っています。

制度も充実、 働き続けて

司会 結婚・出産・育児

自分らしく



竹下弘子さん

市民生活部
いて座 /
A型
アクセサリー店

で先輩に伝えたいのは？
福山 育児が取得できるようにになりましたので、半年間休んで復帰しました。それ以前は泣く泣く辞めたり、預けてお昼に授乳にいったりされてきました。今は制度が整い、働きやすいと思います。

竹下 育児がなく、産前産後が6週間ずつの休みで両立ができたのは祖父母に面倒を見てもらえたからです。今は制度も充実しているのので、働き続けて欲しいと思います。

黒木 同居で助けられたところが大きかったと思います。母からも資格をもっているのだからと応援してもらい、それがあつたから今まで仕事を続けてこられたように思います。

青



「青鞥」・・・平塚らいてう、与謝野晶子らによる日本初の女性の手による文芸誌。おそらく当時の女性たちは、作る側も、読む側もこの新しい雑誌を真ん中にして、かしましく談義しあったことでしょう。今回、この時代に先駆けた雑誌の書名を付した座談会を催しました。

議会にも 大きな変化が

司会 子育てしながら働く時にいい条件がそろっていたようですね。これからはそういった条件が整っていない人でも大丈夫なように制度を充実させていく必要があります。渡邊 今回、議員の出産がようやく事故扱いから休みになりました。最初、出産が事故扱いだと聞いてすごく不快で、「これで「産んでもいいんだ」と思えるようになりました。新福 最近では男性議員が育児や介護をテーマに取り上げるようになりました。これも大きな変化だと思えます。堀 かつてはこうした分野は女性の得意分野という見方もありましたが、男性も議論するようになり、いろんな観点が盛り込まれるようになってきたのは大変良いことだと思います。

やりがいを 伝えたい

司会 今後の議会や職務での抱負をお願いします。福山 多くの人に役を経験してもらいたいと思います。広く市全体を考えます。広がりが求められるようになったので、広い視野をもつように心がけたいと思います。黒木 始良で生まれ育ち、このまちが大好きなので、自分がこのまちに住んでいてよかったです。思えるような仕事をしたいです。課長は大変ですが、仕事を動かす醍醐味もある、やりがいがあると伝えていきたいと思えます。



吹き出しの中は
好きな言葉
所属
星座/血液型
子どもの頃の夢

竹下 外部団体とのかわりで男性ばかりが対応してきたところに女性がいるのは自分が最初だといい聞かせています。課長が「女性だから」と思われないようにプレッシャーの中ですが、頑張りたいことと思います。新福 三人は偉大なる一歩を残されたと思います。それでも執行部席のまだ1割に満たないのが現状です。女性の比率を意識されたいような時代を楽しみにしています。

司会 最後に議長の感想と期待をお願いします。議長 今年の後半から議場システムが改修され、近い将来、議会の様子が庁舎内外でリアルタイムにみられるようになります。その時、みなさんの様子を見て頂ければ、議会が変わってきていることもわかってもらえる。パイオニアとしてのみなさんの頑張りも伝わっていき、議会もまた活性化していきます。期待していません。

司会 本日はお忙しい中、ありがとうございました。
(司会 小山田)



先輩からの 手紙

女性のがんばりに
エールを

今ここに、初めての女性の次長・課長・女性議員を交えての座談会が開かれました。長年夢見ていた風景です。1981年「男女雇用機会均等法」、1999年には「男女共同参画基本法」が制定されました。

公的な社会の後押しは始まりましたが、女性が政策決定の場にたずさわるのはなかなか難しいのが現状です。男女が共に創り上げる社会の実現に向けての第一歩です。先駆者としてのみなさん、そして後に続く女性の方々の奮起を期待し、エールを送ります。

前広報等調査特別委員会委員長
河東 律子 さん



- 座談会出席者
- 福山 恵子 次長
 - 黒木ひろ子 課長
 - 竹下 弘子 課長
 - 堀 広子 議員
 - 新福 愛子 議員
 - 渡邊 理慧 議員
 - オブザーバー
 - 湯之原 一郎 議長
 - 河東 律子 前広報等調査特別委員長



和田里志議員

支援員の配置 状況と役割

市長 / 14校区で協議、13校区に支援員

校区コミュニティ

和田 校区コミュニティ協議会運営支援員の配置状況とその役割について問う。

市長 17校区のうち14校区において協議会が設立され、そのうち13校区において、支援員配置の希望があり配置した。

支援員は、協議会の運営や活動を支援するため、事務局の全般的な事務補



地域の協力でウォーキング大会開催

助が主な役割で、常に地域と密接な情報交換を行い、今後は、校区内の各組織の窓口としての業務が生ずるものと考える。

将来を見据えた観光振興と施策

市長 / 新たな運用スタイルを模索

和田 「あいらびゅー号」の運行委託の現状、昨年度までの実績、今後の予定について問う。

市長 利用者数が、まもなく1万人を達成するところで、観光の目玉として、交流人口の増大と観光PRに貢献している。今後は現行のまま継続

問う

一般質問

その他の質問

子育て支援の強化

湯川 イオンタウン周辺の道路整備において、建昌周辺の都市計画道路錦原線と、宮島線を結ぶ路線の計画推進状況を示せ。



湯川逸郎議員

市長 都市計画道路錦原線の延伸については、整備に向けて、交差点の方向別交通量や、幅員などの調査を実施した。今後は、地域住民の方々との合意形成を図りながら、都市計画の変更手続きを進め、整備推進を図りたい。

道路整備

錦原線と宮島線

市長 / 整備推進を図りたい

ゴミ行政

市長 / 衣類リサイクル事業導入

湯川 ゴミ行政の取り組み方において、始良市衛生協会で協議を行い、改善策をどのように行政に反映させるのか、新年度に向けた新規事業を示せ。市長 新規事業は、拠点資源物ゴミステーションにおける衣類リサイクル事業への協力依頼や広報親子参加型の環境学習ツアーの実施を計画している。

その他の質問

地方創生事業と民間企業活用



二連ボックス活用で渋滞緩和！（建昌周辺）

乳幼児健診

集団から個別へ

市長／個別健診へ移行



森 弘道議員

森 地方創生事業と始良市総合計画との関連、地域コミュニティとの関連について問う。

また法令、条例等の規制緩和について国・県へ働きかける考えはないか。

市長 本市の総合戦略は、第一次総合計画により、人口減少克服・地方創生に関する施策を強化する計画になる。

地域コミュニティは、総合戦略の中で地域の特

市長 県内の18市の中で年齢に応じ、15市が個別健診を実施している。今後は精査しながら、子どもの健康や子育てを支援するために個別健診への移行に取り組んでいきたい。

地方創生とコミュニティ
市長／総合戦略の中で取り組む



1歳6か月児健診（26年度受診率96.6%）

市営住宅入居者の良質な生活環境づくり支援
空き家対策の取組み

その他質問

色や地域の資源を生かした施策を盛り込むことにする。
緩和については、市長会等を通じ働きかけたい。

市政を

21人が



田口幸一議員

田口 墓地の管理について、水道料金の支払い・清掃・集金の実態は、どうなっているか。

高齢化、混住化で管理が難しくなってきたり、何か打開策はないか。
市長 市内の墓地に対する水道料金は、墓地管理組合や社会福祉協議会が支払っている。

清掃は墓地管理組合や使用者が行っている。

管理組合がない墓地は、墓地の使用者が清掃など維持管理を行っていると認識している。
維持管理は高齢化など

で難しくなっているが、墓地、埋葬等に関する法律等に基づいて、墓地等の経営や改葬の許可を出している。

法や条例にも規定されているとおり、宗教的な意味合いもあり、また市の関与は規定されていないため市の広報紙等により墓地の適正な管理をお願いしている。

その他の質問

萩原遺跡の公園化
防災無線

墓地

管理の打開策は

市長／広報紙等で適正な管理



墓地管理について

齋場建設

下請け企業は 工事・施工・運用開始は

市長ノ地元優先に平成29年4月を予定



萩原 哲郎議員

萩原 あいら齋場建設に係る下請け企業等は、地元優先で選定して頂きたいと思うが考えを寄せ。

工事・施工・運用開始はいつか。

市長 県内で施工実績のある業者は、各地元の業者を優先して下請け業者としており、火葬炉設置においても、可能な限り地元業者を優先していく。工事・施工期間は、火葬場本体工事が、平成28年6月から29年2月末までの約9か月間を予定している。

運用開始は、平成29年4月を予定している。

駐車場整備
網戸・クーラー設置
教育長ノ考えていない
必要性を含め検討

萩原 重富小学校の駐車場整備は、以前から問題になっているが、一向に整備されない状況が続いている。駐車場整備について伺う。

また、春から夏にかけて、山に近い学校は、スズメバチ等が飛来して、刺されたりする危険性が高い。教室等に網戸がク



山間部の学校の教室等に網戸等の設置を

クーラー設置が必要と思うが考えを寄せ。

教育長 PTAの協力を得て、違法駐車をしないようにお願いしている。

駐車場用地の購入については考えていない。

夜間の使用が見込まれる校長室や職員室に設置した例はあるが、教室への設置は行っていない。

重富小学校の西側校舎設置については、必要性を含めて検討していく。

その他の質問

重富中学校校舎等の改善対策

市内の道路改善・整備
堂山地区住民の緊急の避難場所

状態の把握

市長ノケース会議を開き対応

子どもの貧困



本村 良治議員

本村 子どもの貧困状態を把握するために教育委員会と保健福祉部はどのように連携を取っているか。具体的に説明せよ。

市長 保育所、幼稚園、小・中学校、スクールソーシャルワーカー・民生委員・児童委員などから



支援教育を推進中の学校

の情報を基にケース会議を開き、それぞれのケースに応じた支援を実施している。

特別支援教育
教育長ノ必要な対応を検討

本村 支援員の配置はどのようにして決定するか。

また、学校からの増員の要望が出たらどのような対応を取るか。

教育長 学校訪問により在籍児童の障害や特性と

校内の支援体制を把握し、学校側と協議をして支援員の配置を決定している。また、今後の配置についての要望については、児童生徒の状況を把握し必要な対応を検討していく。

その他の質問

農業・農協改革

待機児童ゼロを

市長 / 希望に沿う努力

子育て支援



森川和美議員

森川 本年4月1日から子ども・子育て支援新制度により、パートで働く人や、求職活動中の人及び育児休業中など利用

制限努力した。利用要件についても、就労形態の多様化に最大限努力した。

基準が緩和されたが、本市はどこまで広げ、待機児童ゼロに近づけたか。

市長 本年4月1日現在29人の待機児童です。平成26年度認可保育所の新設2園、幼稚園から3園、認可外保育所から1園、認定こども園の移行により量的拡大を図ったが、入所児童の増加で解消に至らなかった。

利用要件についても、就労形態の多様化に最大限努力した。

今後も待機児童ゼロを目指し、新設、利用要件等に対応し努力し続ける。

在宅介護の充実を市長 / きめ細やかに対応

妊娠・子育て

切れ目のない支援策を

市長 / 調査研究と検討を行う



新福愛子議員

新福 本市は、子育て世代の転入が、県内で突出している今

「子育て世代包括支援センター」の整備計画

「産後ケア」への助成

「エイクン」感染防止支援の粉ミルク支給

乳幼児健診の土日実施など、多様なニーズに

えるべく妊娠から子育て期までの切れ目のない支援策を検討すべきである。

市長 関係部署が連携を図りながら、先行自治体の情報収集や調査研究と検討を行う。

自治会への加入問題市長 / 加入促進に努める

新福 顕在化している加入問題に対し、等しく恩恵を受けている社協・衛生協会・防犯暴力追放協議会などへの会費だけを負担する自治会準会員制度などを推進し、懐深い

まちづくりを進めては。市長 様々な取組みや地道な活動が行われているが、なかなか進まない。自治会の活性化のためにも地域組織の方々と協力し、個々人のニーズに柔軟に対応しながら加入促進に努めていく。



認知症模擬訓練の様子

その他質問

4月からスタートした3公共施設等



親と子の笑顔あふれる始良市に



完成したが左岸は危険な状態（栗脇橋）

農林業の振興

荒廃地に漢方薬草栽培を

市長 / 検討する



堂森忠夫議員

堂森 農林業分野は、後継者不足で荒廃地が目立つ。この荒れ地の自然力を活かし、漢方薬草栽培の振興・推進を考えないか。

また、休耕地を農業体験研修場として、公務員・児童生徒・企業等の人材

育成や社会貢献活動の取り組みとしての活用を推進出来ないか。
市長 生薬の種苗確保や品質、収穫などの技術の確立が課題だが、調査研究する。

貢献活動の取組は、地域の協力も必要である。農業委員会と連携を図り、今後、検討する。

栗脇橋の左岸側は危険
市長 / 早い時期に設置を検討

堂森 辺川下地区の栗脇橋が復旧完成したが、左岸側の橋乗り入口は、ガードレールもなく危険である。

市長 本年3月に完成したが、国の査定で左岸側は認められなかった。

早い時期に市単独事業でガードレールの設置を検討する。

その他質問

加治木港町の活性化策
少子高齢化対策

水路

維持管理体制は

市長 / 関係部署と連携



吉村賢一議員

吉村 市全域の水路の管理体制を検討すべき。用途地域も加味して、土木課・耕地課・土地改良区の役割分担を明瞭に示せ。市長 財産的管理は、関係各課が管理し、機能的管理である農業用施設等は、土地改良区や水利組合が維持管理している。法定外公共物及び市が所有者になっている水路の相談窓口は土木課が行っており、関係部署と連携させ業務を遂行している。

文化と歴史あるまちづくりと観光
市長 / 保護・活用が重要

吉村 始良市は、宮島・松原が中心に、加治木・蒲生は周辺部になりつつある。

周辺地域はそれぞれの歴史や町並みを維持して



長雨時の木田用水の流れ（弥勒）

こそ持ち味を出せると思うかどうか。
また、点で観光地・みどころを結ぶのでなく、線または面としての整備構想を問う。
市長 県下一の指定数を誇る文化財や由緒ある街並み等は貴重な資源であり、今後どのように保護・活用していくかが重要である。

加治木地区では龍門滝周辺の遊歩道、龍門司坂・金山橋の駐車場整備を終え、本年度から森山家主屋の整備計画に入る。

交通弱者対策

予約型乗合タクシーの導入

市長／地域公共交通網を策定



竹下日出志議員

竹下 予約があったときに、複数の利用者が乗合地的の玄関まで送迎する予約型乗合タクシーを導入する考えはないか。
市長 本市では民間のバス、市内巡回バスなど委託や補助事業を実施し、中山間地域や高齢者等の交通手段を確保している。地域公共交通網の形成計画を策定し、高齢者・障がい者など交通弱者への支援策、予約型乗合タクシー導入も検討する。

うそ電話被害の防止対策

市長／導入自治体を調査研究

竹下 うそ電話被害から高齢者を守る、電話機の呼出音が鳴る前に、「この電話は、振り込め詐欺などの犯罪防止のため、会話内容が自動録音される」というメッセージを流す、自動通話録音機の無償貸出しを実施する考えはないか。
市長 現在、予定はないが、導入している自治体を調査研究する。

その他の質問

空き家対策



学校への登下校に利用する蒲生地区乗合タクシー

ます。これから呼び出します。これで、このままでお待ちください」との警告メッセージを流す、自動通話録音機の無償貸出しを実施する考えはないか。
市長 現在、予定はないが、導入している自治体を調査研究する。

今後の解消の見通しは

市長／計画策定が必要

空き家対策



渡邊理慧議員

渡邊 空き家バンク制度や空き家リフォーム事業補助金制度は、充実した制度になっているか。
市長 空き家等対策の有効な施策になっていると考えるが、すべての空き家の解消につなげることは難しい。

渡邊 今後の解消の見通しはどうか。撤去費用の補助は検討しているか。
市長 協議会を設置し、除去等の措置を含め、空き家対策の計画策定が必要である。

捨て猫の対策

市長／協力をお願いしている

渡邊 重富漁港付近では、猫の放置が後を絶たず、近隣住民に迷惑がかかっている。

雑草除去の指示や猫の捕獲、捨て猫の対策を広報紙などで啓発すべきと考えるがどうか。
市長 雑草除去については、苦情などがあつた場合、文書等で適切な管理をお願いしている。

法的規制がないため、市では捕獲ができない。広報紙や看板設置などで協力をお願いしている。

その他質問

置 小中学校のクーラー設置



小さな命、大切にしていな

市の財政

決算見込みと健全度は

市長／予算編成し、健全化に努める



湯元秀誠議員

湯元 次々に進められる大型予算を伴う事業に将来の負担を心配する市民の声がある。

26年度決算見込みと、今後、財政の健全度は安心を得られると判断されるか。

市長 26年度の財政力指数については25年度0.46に対し0.47となった。

26年度末の財政調整基金は、約29億5千万円で、前年度比約4億円の減、市債残高は、約337億4千万円で、対前年度比約12億円の増となる見込みである。



森林用ドロップネットによる捕獲

湯元 市の貸出しの箱わなを今後増やす計画は。また、山林のシカの生

鳥獣害対策の強化を図れ
市長／調査研究する

今後も第1次総合計画後期基本計画及び実施計画に基づき予算編成し財政健全化に努める。

ドロップネットとは
主にシカを捕獲対象とした自動落下装置で、幅、奥行18畳、高さ2.5〜3畳にネットを固定し、暗視カメラから自宅のパソコンや携帯電話へ映像配信、監視が可能で、餌付けなどにより集まったシカを遠隔操作で落させ一斉捕獲する仕組み。

息密度の低減策として開発されたドロップネットを導入し、鳥獣害対策の強化を図れ。
市長 箱わなは今年度6基購入の予定。
新型シカ捕獲装置のドロップネットは一般にまだ普及していないが被害防止対策や捕獲の方法について調査研究する。

ダブルケア 早急な実態把握と支援を 市長／今後も力強く支援



小山田邦弘議員

小山田 本市も子育てと介護が同時進行するダブルケア世帯が増加するという予測もある。
市として早急な実態把握をすべきではないか。

市長 統計的には把握していないが、高齢者の介護と子育てを同時に行う世代は増えてくるのではないかと、推測している。
小山田 ダブルケア世帯に向けた具体的な支援策を用意すべきではないか。
市長 ダブルケア世帯の方は、肉体的・精神的にも負担が大きく、大きな悩みやストレスを抱えておられる。
現在、介護と子育てを一元的に相談・支援できる体制はないが、組織再編で保健福祉部を充足さ



子育てと介護が同時進行する世帯が増えてくる

せ、保健・子育て・介護等の連携強化を図り、きめ細やかな対応を考えている。
今後も子育てと介護を行う市民の方々を力強く支援していく。
小山田 他市で第2子出産に伴う育児休暇が理由で、第1子が保育園の退園を求められているが、本市の対応はどうか。
市長 育児休暇中の1年間はそのまま預かるようにしている。

国保事業

保険料の負担も限界

市長 / 慎重な検討や議論が必要



神村次郎議員

神村 保険料の負担も現在が限界と考えるが保険者としてどのように考えるか。
市長 被保険者負担の在り方については、影響が大きく、関心度の高い重要な事項であるため、特

に慎重な検討や議論が必要であると認識している。
神村 国保事業が県に移管することになるが、納付率の向上や、医療費抑制に努めれば保険料を下げる等、新制度では成果主義の導入が検討されているが、「受診控え」が進み、社会保障としての機能を失うことにならないか。
市長 30年からは、医療費適正化に取り組む保険者を支援する「保険者努力支援制度」がスタ

トする見込みである。
今回の改正で、医療機関へ受診抑制につながるような設定していくことが重要である。

その他の質問
業務委託契約



元気の“源”グラウンドゴルフ

医療費削減

歯周病対策を

市長 / 情報提供と周知に努める



法元隆男議員

法元 歯周病菌が心臓病、肺炎、脳梗塞、糖尿病など多くの病気を悪化させる。
医療費削減のために歯周病対策を講じる考えはないか。

市長 調査・研究で全身疾患との関連性が示されており、平成24年度より40歳以上の節目年齢の方と、今年度より妊娠中の方を対象に歯周病検診を実施している。
口腔ケアの重要性などの情報提供をはじめ、今後さらに周知に努める。



利用頻度の高い里道

里道整備

市長 / 早期の事業実施は困難

法元 市道萩原線より西反土へ抜ける里道は利便性が高い。
市長 永年の宿願である整備はできないか。

市長 地域の同意や多額の事業費が必要で、早期の実施は困難である。

法元 噛むことの健康効果と食後血糖値を考慮した「炭水化物より食物繊維（野菜等）」を先に食べる食事法を進める考えはないか。
市長 国が示した「歯ミング30」の普及や提案の食事法についても情報提供を行う。

自宅への支給

敬老金支給事業

市長 / 総合的に検討



上村 親議員

上村 今年度の支給対象者は、満88歳・99歳・100歳それぞれ何人か。現在の支給方法を本人が自宅への支給は考えないか。



(仮称)イオンタウン始良完成予想図

市長 支給年の9月1日現在で支給対象者、満88歳の方が505人、99歳の方が43人、100歳の方が30人と見込んでいる。敬老金支給事業については、高齢者増加に伴い支給年齢・支給方法も含めて総合的に検討する。

イオン開店に伴う交通対策は市長 / 特に問題ない

上村 イオン関係者と協議することだったが、内容を示せ。

市民への説明等の考えは。周辺は児童・生徒の通学路になっているが、学校との連携は。市長 県関係各課及び交通規制課と協議を行い、特に問題ないと報告を受けている。地元説明会は、大規模小売店舗立地法に係る第五号申請をした後、8月中旬に行う予定である。通学路に係る学校との協議は、イオンの担当者が教育委員会、各学校を訪問し、協議する。

空き家対策

活用への新たな援助策

市長 / 今後研究していく



峯下 洋議員

峯下 「ひまわりハウス」のような、地域住民が集える空き家の活用への新たな援助策を問う。

市長 「ひまわりハウス」は空き家の活用策としても大変すばらしいアイデアであり、地域住民の交流の場として、また高齢者の生きがいづくりや地域の活性化にもつながると期待している。市としては、空き家の活用策として居住以外を目的としたものへの助成制度について、今後研究していく。

AEDのコンビニ設置を市長 / 引き続き検討

峯下 24時間営業という利点を持つコンビニに、AEDの設置協力の依頼はできないか。

市長 本市では、公共施設や民間事業所などの142施設に151台が設

置され「あいらAEDマップ」をHPへ掲載。講習会での広報や、119番入電時には現場近くの設置場所も伝えている。現在、県内でコンビニに設置している市町村はないが、突発的な事故に有効なので引き続き検討していく。

その他の質問

太鼓公園周辺の活用
加音ホールプロジェクト設置
テニスコート、ウォーキングロードの確保



みんなで食べるとおいしいネ!

学校給食

地元産の米の活用

教育長／積極的に活用していきたい



堀 広子議員

就学援助の拡充
教育長／検討していく

堀 本市の26年度就学援助受給者の割合は12・93%で、鹿児島市は25%と高い。

認定基準を見直し、基準額を引き上げ、保護者

の負担軽減をめざし、就学援助の拡充を図れないか。

教育長 同じレベルの市町村の状況を鑑み、検討していく。

堀 支給項目にクラブ活動費、生徒会費、PTA会費が加わった。いつ支給が実施されるか。

教育長 近隣自治体の動向を視野に、検討していく。

その他の質問

画 公共施設再配置基本計



元気に育って大きくなーれ

関係機関との連携

市長／これまで以上に連携し対処

障がい児支援



犬伏浩幸議員

犬伏 障がい児支援の充実が求められている。関係機関との連携について問う。

市長 保育所、幼稚園、学校等の関係者が継続的に連携を図ることに努めている。

また、本年度から保健福祉部として組織再編し



支援体制充実の拠点

たことに伴い、健康増進課、子育て支援課、子ども政策課など、これまで以上に連携して対処していく。

犬伏 要望等への対応は。市長 相談窓口の支援体制充実のため、「児童発達支援センター虹の家」を中心として、療育関係機関との連携をさらに深め、障がい児、またその保護者等の支援の充実に努める。

ビッグデータ活用推進
市長／「地域経済分析システム」を利用

犬伏 ビッグデータ活用推進と、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定にあたり、どのようなデータを活用しているか。市長 地域課題を抽出し、対処できる「地域経済分析システム」を利用して

学校給食に、地元産の米を活用できないか。
また、安定的に供給できる体制づくりに生産者と学校給食関係者との意見交換会や情報共有の場を設けることが必要と考えるがどうか。
教育長 前向きに生産者と協議して、積極的に活用していきたい。

語る会

広く意見交換

始良市議会では、開かれた議会をめざして、市民の皆さまに議会の活動状況をお知らせし、皆さま方からのご意見を市政に反映させるため、「議会と語る会」を実施しています。

第5回目の「議会と語る会」は、5月23日（土）の夜に漆校区・蒲生生活改善センター、24日（日）昼に重富校区・脇元地区公民館、夜に錦江校区・須崎公民館で実施し、今回は82人（前回52人）の市民の皆さまの参加がありました。

各委員会で作成した資料について説明の後、市政全般にわたって意見交換がなされ参加者からさまざまなご意見をいただきました。



須崎公民館（錦江校区）参加者23人

**市政全般に対する
主な質問・意見**
質問 県道浦・蒲生線の道路拡幅はいつになるのか。
回答 未整備区間について県へ要望する。
質問 県道下手・山田・帖佐線の道路を改良整備して欲しい。
回答 県道の維持管理について始良・伊佐地域振興局へ要望する。

拡幅と改良

市道南加祢ヶ原線

菅原線

市長／必要性は高い



谷口義文議員

谷口 こうか跡地の中心を通る市道南加祢ヶ原線は、利用者も増えてきた。菅原線に向けての拡幅と、交差点協議も含め改良の検討はしたか。

谷口 危険住宅の移転事業である「がけ地近接等危険住宅移転事業」の補

危険住宅の該当数と補助額
市長／24年は981件、802万9千円

農道に最近、松原地区からの交通車両が増加傾向にあり、通行の安全性や利便性に伴う改良工事の必要性は高いと考えている。
今後、実施計画等も含め検討する。

助対象となる該当住宅数と、補助額を示せ。
市長 事業は、がけ地の崩壊、地滑り等のおそれのある危険住宅に居住する住民が、安全な場所に移転するための経費を補助するものであり、平成24年の調査時で、981件である。
国・県の補助を受けた限度額は、除却・建設等も含め802万9千円である。



菅原線からこうか跡地へ

その他質問
公園のあり方
防災無線

議会と

第5回



蒲生生活改善センター（漆校区）参加者44人

質問 防災無線が山びこのようになって聞こえにくい、対処してほしい。
回答 市に改めて調査を依頼する。

質問 九州新進とデリカフレンズからの出口は、危険であり「生まれ」の標識を付けて欲しい。
回答 市へ対応するよう伝える。

質問 雨の日、加音ホー
ル前から龍桜高校までの区間が、水たまりがひどい、改善してほしい。
回答 市へ対処するよう伝える。

質問 健康検診等は、保健センターで行っているが、身近な地区公民館で実施できないか。
回答 市に強く要望を伝える。

質問 脇元海岸近くの家（10世帯）に、地震・津波・台風に対応し戸別無線機を設置できないか。
回答 桜島の活動が活発であり、市に要望する。

質問 須崎地区公共用地と須崎自治会との間の用排水路は、土砂が堆積し流れが悪い、土砂の除去をして欲しい。
回答 地域の協力もいた
だきながら、市でも対応を検討する。

市政への提言

須崎地区と松原地区へ橋を架けられないか。
回答 都市計画マスタープランで、加治木・始良連絡構想線として位置づけられている。



脇元地区公民館（重富校区）参加者15人

空き家が放置され、管理が行き届いていない。所有者に注意喚起をお願いしたい。
回答 市では、現地調査を行って管理者へ連絡している。議会でも、空き家対策を提言していく。

重富駅は、駅舎が反対側になく不便。都市計画道路が20年以上できていない、整備できないか。
回答 都市計画道路の重富駅停車場線は、都市計画マスタープランで、計画的整備を検討する。

議会に対する 主な質問・意見

質問 政務活動費を制度化して欲しい。
回答 議会では、領収書等を開示して市民に理解を得られる、政務活動費の制度化へ努力する。

質問 白銀坂など観光地の魅力づくり、景観条例を創って欲しい。
回答 本市では史跡も多いため、今後議会全体で取り組んでいく。

語る会当日の アンケートから

生の議会報告が聞くことができ、議会が身近に感じられるようになった。

地域ごとに多くの問題等があると思うが、一つでも多く改善して欲しい。

広報紙で知り出席したが、有意義な会だったと思う。議員がもう少し地域住民の意見に耳を傾けてもらいたい。

議員、議会が始良市の発展のために努力している姿を理解できた。今後の語る会の充実に期待したい。

紙面に掲載した質問、提言は、一部を抜粋したものです。地域の課題を含め、多くの意見をいただきました。

市政への意見は、執行部にしっかりとつなぎ、議会に対する意見は、今後、議会の中で議論を深めていきます。



今回左記のチラシをお配りしたところ多くの傍聴者にお越しいただきました。みなさまの声の一部をご紹介します。



傍聴席から

・私たちのところでも自治会に入らない人が増えています。これからは自治会未加入者のごみ問題は、身近で大きな地域の課題です。



女性・70代

・「議会を見に来ませんか？」のチラシをみて初めて議場に来て、傍聴者の多さに驚いた。関心のあった質問を聴き議会を身近に感じた。



男性・70代

・議場に若者が少ない。議員の質問は具体的な理由・提案があれば分かりやすいし、議論がかみあうように、市長からも議員に対して確認質問しても良いのではないかと？



男性・20代

・初めての傍聴でしたが、当局と議員のやりとりなど真剣で良かった。また傍聴したいと思った。



男性・60代

・各議員は、聞きたいことがあれば各部、各課を回って情報を集めればいい。または、本会議前に委員会を開き、委員会で質問して疑問を完結して、臨むべき。



男性・50代

・実家が空き家になって、11年。最初は草刈りに行っていたのですが、期間も長くなると大変です。傍聴して参考になる意見も聞いて、少しは前に進めそうです。



女性・60代

傍聴席へどうぞ

車いす席もあります。

次回の開会は9月4日から

・質問者は、市側が回答しやすいように質問事項は短くわかりやすくして欲しい。傍聴者は、市側の回答を数多く聞きたい。



男性・60代

・初めての傍聴でしたので議会そのもの（雰囲気）を味わう事が出来たのが勉強になりました。



男性・80代

・一般質問で子育て支援と車いす登校児童の環境整備を取り上げ、提起していただいたことが一歩前進だと思っています。今後の実現を切に願います。



女性・40代

このほかにも多くの貴重なご意見をいただきました。今後の議会活動や議会運営の参考にさせていただきます。

編集後記

今号では、「子ども」「女性」関連の記事が多く掲載されています。子どもたちの笑顔と女性の輝きが、まさに地方創生の原動力であると感じています。市議会では、地方創生を推進する特別委員会を設置しました。みなさまのお声を聞きながら、故郷始良市の未来を創ってまいります。 犬伏 浩幸

編集・発行責任者
議長 湯之原 一郎

広報広聴特別委員会

(広報班)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-------|----|-------|----|-------|----|------|----|--------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 湯川 逸郎 | 委員 | 吉村 賢一 | 委員 | 渡邊 理慧 | 委員 | 森 弘道 | 委員 | 小山田 邦弘 | 委員 | 本村 良治 | 委員 | 犬伏 浩幸 | 委員 | 神村 次郎 | 委員 | 新福 愛子 | 委員 | 萩原 哲郎 | 副委員長 | 峯下 幸一 | 班長 | 田口 幸一 |
|-----|-------|----|-------|----|-------|----|------|----|--------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|------|-------|----|-------|